

Sound Emotion

おいてかないで

こーじ 難病持ち。とある病院に入院している。

きりみ 持病でこーじと同じ病院へ通っているが、友達にはそ

のことを打ち明けていない。

女生徒 A きりみの友達。

女生徒 B きりみの友達。

こーじ 「やあ、待ってたよ。」

きりみ 「あ、こーじくん。今日は外出て大丈夫な日なの？」

こーじ 「うん。天気もいいし、気分がいいんだ。」

きりみ 「そう、よかった。」

女生徒 A 「なに、この人きりみのカレシ？」

女生徒 B 「えー、きりみちゃんカレシいたのー！？」

きりみ 「ううん、そんなんじゃないの！ こーじくんは・・・わたしのおにいちゃんなんだ。」

こーじ 「え、いや、ちがうけど・・・」

きりみ 「(こーじくん！ 話合わせて！)」

こーじ 「そう、実は、おにいちゃんなんだ。」

Sound Emotion

女生徒 A 「え、さつき違うつて？」

女生徒 B 「あやしーい！ ねえねえ、どういう関係？」

きりみ 「あーもう、こーじく・・・おにいちゃんのばか！」

こーじ 「あ・・・なんか、ごめん。」

女生徒 A 「で、きりみになんか用？ お・に・い・ちゃん？」

こーじ 「いや、特に用はないんだけど・・・散歩してたら、気

分が乗っちゃって。ちょうど学校の近くまで来てたか

ら、きりみちゃん、元気にしてるかなって、立ち寄った

だけなんだ。」

女生徒 A 「あっははは、散歩ついでにきりみに会いにきたってわけ？

それなに散歩？ あ、にい散歩？」

きりみ 「ちょっと、くだらないこと言っていないで。ほら、いくよ！」

こーじ 「え、行っちゃうの？」

きりみ 「だって、特に用はないんでしょ。」

こーじ 「それはそうだけど・・・」

女生徒 B 「きりみちゃん、言い方きついよー。このひと、ちょっと

かわいそう。」

きりみ 「いいのよ、用もないのに来る方が悪いんだから。」

女生徒 B 「えー、でも。おにいちゃんさん、ごめんなさいね。」

Sound Emotion

きりみ 「なんでアンタがあやまるのよ。」

女生徒 B 「だって、かわいそうだから・・・」

こーじ 「きりみちゃん、体の方は・・・」

きりみ 「ちよつと！ それ以上言ったら、ただじゃ済まさないからね。」

こーじ 「え？」

きりみ 「あたしたち、これから映画観に行くの。アンタに用はないのよ。わかったら、さっさと帰って・・・ほら、いっよ！」

女生徒 A 「へいへい。きりみも言うねえ。」

女生徒 B 「あ、まってー！」

こーじ 「きりみちゃん、ちよつと待ってよ！」

きりみ 「ついて来ないで！」

こーじ 「うっ・・・」

きりみ 「あたしがどこでなにしようが、アンタには関係ないんだから。ほつといてよね。」

こーじ 「きりみちゃん・・・無理、してないといけど。」